

株式会社 松屋 2018年8月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	6.9	3.8
② 銀座店	7.4	4.2
③ 浅草店	0.7	3.0

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
銀座本店	13.5	8.1	11.4	2.9	1.3	12.3	5.3	9.0	9.4	17.7	-1.9	6.9
松屋銀座	14.2	8.7	12.3	3.1	1.4	13.1	5.3	11.2	10.4	19.7	-1.6	7.4
松屋浅草	4.0	-0.9	1.8	0.5	0.3	-0.2	4.7	-17.0	-2.4	-2.7	-5.6	0.7

3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、前年対比で土曜日1日減(▲0.4%減の影響)や上旬の台風等の様々な影響を受けながらも、婦人部門においては、サングラスや傘等を軸とした婦人雑貨が好調だったことに加え、シャツ、ブラウス等の軽衣料中心に売上を伸ばしました(8月の婦人服プロパー/セールシェアは75:25となり、セールに頼らない晩夏初秋物や秋物早期展開によるプロパー商材に動きがありました)。また、免税売上高につきましては、好調な化粧品と時計が引き続き全体を牽引いたしました。さらには、例年にない猛暑であったにも関わらず、「ウォルト・ディズニー・アーカイブス展」や「石原裕次郎の軌跡展」等の文化催事が来店動機となり、入店客数も前年対比で約5%程度伸びた結果、銀座店の売上高は前年を上回りました。
浅草店	浅草店は、化粧品や婦人雑貨の好調な売上が牽引し、売上高は5ヶ月ぶりに前年を上回りました。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	11.7	11.7
婦人服・洋品	6.1	6.6
子供服・洋品	-14.4	-14.4
呉服寝具他	4.3	0.9
衣料品計	5.8	5.9
身廻り品	7.2	7.1
雑貨	8.7	7.9
家具	-16.5	-16.4
家電	-25.3	-25.3
家庭用品	-11.9	-12.2
家庭用品計	-14.9	-14.9
食料品	-2.4	-2.0
食堂・喫茶	2.1	2.1
サービス、その他	43.8	45.0
合計	6.9	7.4

商品別概況(銀座店)

* 婦人服・洋品は、クリアランスセールと並行してプロパー商材も好調に滑り出しました。
 * 雑貨は、引き続き化粧品が国内外のお客様からのご支持により大きく売上高を伸ばしました。
 * 免税売上高が店全体の占める割合は、約1/4程度となりました。

*「9月上速報」は、10/1(月)15時に開示を予定しております。

*「平成31年2月期第2四半期決算発表」は、10/11(木)16時半を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部コーポレートコミュニケーション課
 TEL(03)3248-8311 / FAX(03)5550-9639